京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金貳五十錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

雜錄

内外應酬

一記者

人の社會に於ける、犯すの意なくして罪を犯すことは已むを得ざる事として咎むべきで無いのは云ふ迄も無い、併し文明の其の兇暴の犯行の動機が無意を茲に惡し認めざる場合がある。

如何なる理由を以てするも暗殺の罪惡でゐることは、今更喋喋は論議されて居るのであるが、皆者此の犯行に對して同情を表せし時代も有つたのである之れ其犯行の動機が自己の利益の爲め若くは私憤に驅られたるより來るに非ずといふのが彼の同情を贏ち得たる最有力なる理由であつたのである、時代は斯る同情の甚だ道理なきを認むる迄に進歩したる今日の社會に於ても、尙且つ兇漢に向つて私かに同情を寄するもの～あるのは或る意味に於ける人間自然の情と云ふべきである、文明も時代も畢竟物の道理からのみは生れるものでない以上、誠に餘儀無きことと云はねばならぬ、而かも之れを來朋國に於て演出されたりとせんか、其犯行に對する觀察的觀察は即ち之れを個るゝとは云へ其犯行は寧ろ志士仁人の義擧として犯者を崇拜するのである、實に關心すべき此の蠻風は韓國に於て最も著しきを見るのである、兇漢安重根が伊藤公を暗殺した、韓の衆愚は大に其行を壯なりとし、彼れは俠勇なる國士の如くに崇拜されたのである、李在明が李完用を刺した、韓の社會は千萬人中斯る者在るを誇りとするのであつた、彼等は事の是非を辨別するに非らず唯虛名を蠻國に轟る地位名望有るものを殺したり傷けたりといふことを以て壯とし、快とし、將た榮譽ある事と爲るのである、然れば重根、在明が風を望むで之れを學ばんとする輩も決して少なく無いといふことを聞く、彼徒は兇行に依つて國士の榮譽を得んとするのである、恐や及ぶ能はずと澄す譯には行かぬ、彼徒をして兇暴より榮譽の生るべきで無いことを知らしめねばならぬ、勿論之れを知らしむるは容易の業でないのである、故に容易に行はれ得べき、而して比較的効果の大なるべき方法は社會に兇漢の名を榮譽あるものゝ如くに傳へしめぬことである、吾が新聞紙と雖ども事實の報道は之れを爲すべきであるが、賣女が自己の惡事を紙上に唄はれながら却て之れを一種の廣告法として喜ぶと一般、惡事を報道さるゝ事を事榮譽とする彼等に論ゆるには此間大なる注意を要するのである、京城日報が曾には安重根の筆蹟をまで掲げ、今又李在明の身上に關して累々しく書き立てゝ居るのは前過の徒言を缺ぎしやう思はる、吾輩は無智の徒輩をして之れを羨望せしむるに至る無きかを虞るゝのである、眞一之れ有りとせば一種の犯行である譬へ無意なりとするも之れが對象は恕し能はざる結果を見ずや識者を俟たずして明かなることである。

●韓國大豆の新需途

韓國産大豆を以て豆油を製造し同時に豆粕を得るは有望の事業と認めらるゝ所なるが今回既に之が製造に着手したるものあり其製罐を聞くに(一)原料に供すべき大豆は品質比較的劣等品にても可なるも各粒の整然たるものなるを要す故に虫害を被りたるものは例令品質佳良なるも含油量尠きが故に斯業用に適せず(二)製造機は大豆碎潰搾機及絞搾器にして碎潰機は巧に之を操縱するに於て一日に十二時間運轉するものとして約五十石を潰割するを得べし(三)豆油の用途は主として食物調理用なるを以て在留支那人の需要あるは勿論從來用ひ來りし胡麻油の代用品として韓人の需要あるは豫期せらるべし而して大豆粕は之を輸出に供し得べきのみならず肥料の缺乏せる韓國に在て國內の需要將來益々增進すべきは疑を容れず要するに斯業は有望にして輸出貿易上將た農業上歡迎すべき事項なりと

●日本全國農事統計

農商務省最近の調査に依れば日本に於ける田畑の總反別は田二百八十七萬三千五百六十二町一反歩畑二百六十三萬七百六十一町四反歩にして總戸數八百九十四萬四千六百九十三戸中農家戸數は專業三百七十四万千八百五十七戸兼業百六十六萬千八百四十七戸計五百四十萬四戸なるが其中自作農家は百七十九万八千八百二十八戸小作農家百四十九萬千九百九十七戸自作小作兼農家二百十一萬九千百九十七戸にして是を耕地所有の廣狭に依り區別すれば五段未滿二百二十七萬二百五十六戸五段以上百二十八萬千九百十六戸一町以上九十二万五千八百三十二戸三町以上二十七萬九千戸五町以上十二万三千百七十二戸十町以上三万九千八百六十戸五十町以上三千二百五十九戸なりと日本農業の發達推して知るべし

地方通信

◎平壤通信

◎京元工事と守備 平壤鐵道建設事務所に就き京元線工事の着手期其他を聞くに韓國鐵道工事費に就ては既に本年度に於ける議會に於て之が支出を可決し認可せらるゝ事となりたるも猶未各線に於て使用すべき各個の費額に就ては確定するに至らざれば隨て未着手の運に至らざるが右は多分本月中旬迄には確定すべく同時に同線路に於ける正式の實地測量に着手する筈なり而して之が測量の方針に就ては其線路を小にして一部分より開始し漸次査了するものに據るか或は各所に區分して測量班を出し即各地より一時に實測に從事せしむるかは判明せざるも何れにもせよ同線路は內地深く未邦人の交通少き地點へも進入する事なれば暴徒其他に對する危險等あり旁之に對する充分の備として守備隊の護衛を待つ事とする筈なれば万一之が測量區域を廣くし各地より一齊に從事するが如き事となるに於ては勢之に對する護衛等に就ても比較的多數の兵員を要すべしと云ふ

◎送水試驗と給水 平壤水道局事務所にては四日より五日に亘り引續き水源地に於ける唧筒の運轉試驗を行ひ爲に乙密臺上の排水池に向け送水の試驗を爲したゆが兩所共成績良好にして遺憾なく送水するを得たり又機關室の運轉に就ては過日試驗の結果既に良好なるを認めたれば之にて兩局に於ける給水上の機關作用は完全なるものとなりたる事なれば同事務所にては昨日直に之が成績を京城內部へ向け報告し愈々來る十日ごろ東京內部省より當て當地及仁川水道工事に關する唧筒一部を擔任せる川上工學博士來壤する筈なれば其上は同博士の立合の下に通水式を行ふ筈なるも何右の通水式は十日頃に於て行はるゝ筈なるも既に送水上の機關作用は完全なるを證明せられたる事なれば之に關せず同所にては近々市街に於ける各鐵管の掃除を爲すと共に通水をなし一般居留民に給水する筈なりと

日本銘刀傳

第八十六席 法城寺正弘(八) 邑井一講演

或日の晩、田町から入掘でれつたが五郎兵衛町の親屋大郎兵衛の家へ異つて來まして つ「親分今日は……」次「れつなぞうした、此方へ上れ、大層早いな つ「昨夜亭主の夢を、妾は見たのですが、何處へ行きましたらうね 次「左樣さ、人間一人の命を取つた野郎だから、當分は浮ぶめへよ つ「詰りませんね 次「亭主に纏れて居やアがるな、畜生きやうがれ つ「けれども男女の關柄といふものは分りませんよ、此の四五日前から田町の鐵さんの家へ幽靈が出らのですよ 次「何だと幽靈が……」つ「ハア 次「馬鹿をいへ、土一升に金一升ぞといはれる繁昌な江戸、殊に目貫の淺草田町、幽靈なんぞ出てたまるものか、野暮め、幽靈だのといふものは箱根より此方に居るものか、人を馬鹿にしやがる……宜は加減にしろ つ「親方一人で鋼窟ばかりつけて慣つて了つては仕方がないぢやありませんか、今幽靈の一件の話をしますから靜にして聽きなさい 次「下らんことをいふな つ「いゝえ下らないことではありません、恰度五十日許り前の夜の子の刻頃になりますと、表の戸をトン〳〵と叩く人があるのです、妾は晝間用が多いから先へ御免蒙つて寢て居ると鐵さんは奥で晝間の勘定をして居ましたが戸を叩く音を聽て表ての戸を明けて何だか暫らく話しをして居ましたが、夫れから幽靈が家へ入つて來たのであります 次「ウム夫れから何うした つ「夫れから其の幽靈と鐵さんの掛合なのですが、夫れたやア次郎兵衛親方を踏付けにするやうなものだ、なんぞといふ聲が聽れましたが、次郎兵衛といふ人が幽靈のでせうかね 次「ウム、夫れから後は……」つ「妾も疲れて來るしするから聽くでもなし聽かねでなしで寢て了ふうちに、淺草の辨天山で打出す明寅刻の陽氣な鐘を聽くとともに幽靈が消えてなくなりましたの、其の後は毎晩來て仕舞には妾共へも挨拶して、れつなさん今晩はと、言葉をかけるやうになつて、幽靈には似合さうもない御禮の二歩もくれるといふ塩梅なことになりましたと思召なさい 次「恩はなくとも話しを聽いて居れば、自然と思ふわけさ つ「夫れで可憫相なのは鐵さんなのです、淺石男は男だけに、世間の義理といふ事を知つて居ると見ねて、昨日の朝、私を呼んで鐵さんがいふのには、れつなさん、れ前も毎晩のこと存知であらうがあの通りの次第でと、情を明かされて驚いたの 次「ツム幽靈の正本が分つたのかねッ つ「幽靈と思つたはれとくさんですよ 次「ねゝれとくさんだと……」つ「夫れがさ、鐵さんのいふには、れつなさん毎晩あの通り顏を隱して來なさるものはれとくさんだが、最初の晩にはれみつに乳を呑ませたいからとの事から、終には觸れる袖、すれつもつれつ相生の松と松との若緣……と、堀川御所にでもいひさうな工合なのですが、何しろ大事な主人と鐵さんの心配、其處で親分の許へ往つて能く相談をしてくれろといふのですよ 次「夫れは困るな、相談といつて、何うするんだ つ「何ぞかいはずくのうちにれとくさんに徐ろに斷念させるといふやうな工合に…… 次「六ケ敷言葉だな つ「何の事でせう妾にも能く分らないが、何にしても子供があるかられとくさんが來るやうなわけですから、第一まあ小供を里にやつて、夫れに女房さんを一人持たせなければ此の防は出來まいと思ふのです 次「旨い〳〵夫れから つ「さうすればれとくさんも、其の女房さんに對して遠慮するといふ事になるでせう 次「成程 つ「夫れには親分の所のれ勝坊でも貰つて女房にしては何うだらうか、長男には馬鹿でも亂暴でも榮太郎さんといふものがあり、何うで嫁入りさせるれかつ坊だが、顏は好くないし、氣儘は出來ず、朝寢はするし、子供の癖に目やう見眞似でれ前さんの前で其樣てとを言つて濟まないが、眞似に長所のない娘だが、れとくさんの防ぎにするには、却つて其亂暴な所が宜いかも知れませんです。」



東京電報

▲米穀改良會議開催 農商務省にては本日より米穀取引所員米穀商組合員米穀檢査所長八十餘名を召集し米穀改良に就き會議を開く小松原農商務大臣一場の訓示あり(七日)

▲諸法律發布 左記法律本日の官報にて發布せられたり
明治四十二年法律第四十四號耕地整理法中改正法律第四十五號營業稅法中改正法律第四十六號臺灣銀行法中改正法律第四十七號裁判所構成法及び管轄區域表中改正法律(七日)

▲各師團長の謁見 師團長會議參列の各師團長は七日午前陛下軍狀上奏の爲め參內引續き御陪食を仰付けらる(七日)

▲無線電信の試驗 日布間の同試驗は布哇カフク局の位置及び天候の支障にて二回とも十分なる成績なかりしも其結果必らず成効すべきを確め得たれば近々第三回試驗を行ふに決しカフク局に技師を派遣し充分に試驗結果を調査せしむべし(同上)

▲本溪問題解決せん 本溪湖炭坑問題は大倉組と淸國當局者との間に談判進行中なりしが最近淸國との條件我と接近し近く解決すべく大倉喜八郎氏は四月下旬渡淸すべしと(同上)

▲師團長會議の日割 五日より十三日に亘る同會議日割は左の如く變更さる(同上)
六日午前技術審査部、同午後教育總監部、七日參內、八九兩日陸軍省、十一日休、十二日前九時半より樞林師被服廠參觀、

▲赤穗義士の追悼 芝高輪泉岳寺にては例年の通り去る六日より明九日まで赤穗義士追悼會を施行す參拜者每日十餘萬人に達し寶物を展覽せしめ居れり(八日)

▲渡淸實業家の決定 淸國實業家と連絡を計る目的を以て各商業會議所より代表者を選定し淸國各地を訪問する人撰は左記七氏に決定し愈々來る七月上旬東京を出發する筈なり
大橋新太郎、近藤廉平、土居通夫、立川辨造、大谷嘉兵衛、奧田正香、綾部惣兵衛氏等なり(同上)

▲鐵道院の大工場 鐵道院にては現小倉工場に二十六萬七千圓を投じ改築及擴張工事を行ひ九州に於ける一大工場と爲すの計劃あり

▲練習艦隊の來韓 旗艦千歲以下練習艦隊は四月十六日横須賀港を解纜し近海航路の途に就くべし其航程は臺灣、支那、滿洲方面を遊弋し七月十二日仁川へ入港し夫れより黃海日本海を經て歸航の豫定なり(同上)

▲統監歸任は未定 曾禰統監は十日桂首相の歸京を待て會見し二十日頃迄に歸任すべしと傳ふるも主任醫は今月中統監の旅行を禁じ居れば歸任期は目下未定なり(同上)

▲全國產業組合の數 農商務省の調査によれば現在全國產業組合數は六百六十二あり(同上)

歐洲電報

▲佛國海員の罷業 マルセイユに容易ならざる海員同盟罷業起り商業杜絕するに至れり(七日)

北京電報

▲爆彈事件と犯人 淸國攝政王に對し爆裂彈を裝置して宮廷を驚探せしめたる事件に就ては極めて秘密に附しつゝ專ら其の犯人探査に力めつゝあるが之れが陰謀に就き某淸國大官曰く攝政王に對しかゝる陰謀ありたるは極めて最近の事實にして由來聰明なる攝政王は宮中の大官を用ふるに滿漢人の內より人望厚き漢人派を大官の地位に用ひつゝあるを以て今回の陰謀は滿人派より起りたるものならんとの說あるも之れ一種の臆側に過ぎず尙は一層有力なる證據あり即ち當時來滬せる革命黨の一派が南淸地方より入京したる事あり這は哈爾賓にて濤貝勒一行を狙撃せんとして果さず遂に慘殺せられたるが鴨綠江の解氷と共に同國革命黨一派の某が早くも風を喰つて入京したる形跡あるを以て疑はしき者を嫌疑者として既に數十名捕縛したれば近く眞の犯人捕縛せらるゝならん(八日)

雜報

韓國裁判所の現狀
……山邊司法部長談……

統監府裁判所の現況に關し山邊司法部長は語りて曰く

▲既設と未設 現在の裁判所數は高等法院一控訴院三地方裁判所八同上支部九區裁判所八十箇處にして孰れも既設のものなるが目下開設準備中の引繼に係るものの區裁判所十箇所あり而して當初の計劃は區裁判所百十三箇所なりしも豫算查定の結果百三箇處に削除せり

▲豫算と廳舍 廳舍は釜山、淸津、新義州、木浦の四箇所は日本政府に於て建設するに決し既に四十三年豫算に計上しあり其他に就ては法權委任の際韓政府に於て新築の上引渡を受くる事に協定せるも財政の都合上未だ其豫算を得る能はざる由にて目下寸前暗黑の裡に在り故に韓屋にても適當のものあらば應急充用せん筈にて現に十九ケ所丈け修繕に着手し居れり

▲事件の漸增 事件は民刑共に韓政府當時に比し漸次增加の傾向あり思ふに是れ嚴格公正なる吾が司法制度の周知に努るべしと雖も亦一は警察制度の普及大に其因を爲せるものなるべし現に裁判所々在地を距る十數里の地方より提出し來るもの尠なからざるに到たれるが其の一證なり

▲豫算と現員 本年度豫算總額は經常部三百三十餘萬圓にして之に計上せる定員は尙ほ多數聘用の余地あり則ち現在員を內譯すれば左の如し

司法廳(長官一、書記官二、參事官三、監獄事務官二、屬三十五)

裁判所(判事日人百九十二、韓人八十八、檢事日人五十七、韓人七、書記日人百九十三、韓人百十、通譯官日人四、韓人四、通譯生日人四十八、韓人五十五)

▲增俸と韓人 日本人司法官に對する增俸は一般官吏と同一俸給令の下に增俸行はれ一級俸三千圓以下十級俸千圓となれるが韓人法官に對しては從來の通りにして依然其儘なり是れ日本人の俸給は遠く十數年前の制定に係り均しく增俸を必要とするも韓人任用は最近の制定に係るを以てなり決して彼に厚く此に薄き次第にあらず

▲希望者多し 上述の如く既に豫算は議會の協賛を得て公布せられたり故に廳舍の準備成れば直に豫定計畫を遂行し得べく特に吾が內地にて統監府司法官を希望するもの少からざるを以て有爲の適材を得る必らずしも難たからざるが如し

▲韓官と保障 司法官に對しては法律上終身官の保障を與ふるを原則とするも韓人法官は此保障に與らざるなりして終身官制度は必ずしも良制度を以て目し得べからざるが如し所謂適材を適處に得るには自由に任免黜陟するを便とすればなり云々

耶蘇布教の現況

耶蘇教徒の信徒擴張運動に就ては其熱心其手段實に想像以外に在り今各地に於ける其模樣を聞知するに左の如し

▲平安北道 宣川耶蘇教會にては三月三十日より一週間の豫定を以て婦人信徒に對する査經會を開き來會者より入場料として二錢五厘宛を徵しつゝあるが日々來會者百餘名ありて外人宣教師婦人講話を爲し家庭的に勸誘を努め居るが其效果著るしと▲全羅南道 光州郡邑長老派宣教師ヘール氏はハオウエン氏未亡人と共に三月十九日より靈光郡に赴き同地教會室又は市場に日々出張して傳道を試み熱心驚くべきものあり而して入場者に對しては天放葉錢二文乃至八文宛を醵金せしめ居るが彼等韓民は孰れも隨喜渴仰して其態度を受け居れりと▲同道 突山郡金吾島兩面に一月より開設せる耶蘇學校は教徒祭璜永なるもの教鞭を下に生徒百二十名を收容し居るが此頃全部斷髮を行ひ禁烟禁酒の戒を確守し地方の人氣次第に茲に集中するに到れる由▲同道 光州郡より二名南平郡より一名平壤ミシン神學校へ入學の爲め韓人青年を撰拔し平壤へ出發せしめたり其他宣教師より盛んに勸誘し居るが希望者續出し更に增派あるべしと▲慶尙北道 大邱にては目下信徒七十名あるが尙ほ增加を計らんとて同地宣教師は各方面に運動を開始し去る四日は多數の韓人を使役して通行人に對し印刷物を配付し婦人に對しては深く內房を敲き一々教話を爲し居るが彼等は好奇心に驅られて加入するもの倍々多しと

島村長官の謁見

島村第二艦隊司令長官は參謀長及奧田淀、森沖の島、森三島、今井八雲の各艦長其の他佐官以上の將校を隨へ來る十日入京昌德宮に參內韓皇陛下に謁見敬意を表する由尙同艦隊は十四日仁川拔錨某所に向ふ由

兩江岸の特產物

鴨綠江及び豆滿江上流沿岸幾多の林樹林叢は勿論同地方に於ける重なる富源なれども材木以外の特產物として或は人參或は獸皮或は鑛物其他山野の遺利に乏しからず人蔘の產地は韓國側に多くして淸國側にては帽兒山、頭道溝、二道溝、三道溝附近に最も多く老樹古木の群生せる深林を伐り開き濕潤の地に播種せり八道溝上流の吉林に昇せる深林中には處々に產出せりといふ豆滿江沿岸にては葦沙河、二迷河、渭沙河、嘉囲河等各地方に產出せるが野生人參は最早取り盡され一年の內僅かに四五根を發見するものは幸運者として羨まるゝ程なるが獸皮の最も多きは狐狸皮、穴熊皮にて哈泥河、三岔、頭道溝、陽岔地方は水獺皮の本場と稱せらるゝも其の市場に賣出す水獺皮の數は余り多からざるなり熊皮は帽兒山附近に最も多く產出するも淸人は概して狼皮を愛して熊皮を愛用せざるが如し白頭山以西にては黑貂皮を見ること稀なり帽兒山に於ける熊皮一枚の價は僅か三圓乃至五圓位なるべし而して渾江四道溝には石炭を產出しコークスを製し又は鑛を銘製すと帽兒山附近にて石炭を採掘するものあれども之を輸送し販賣するに困難なり栗子溝產出の鑛は其の質頗る佳なりと傳へらる砂金は各處に產出すべく三道溝は砂金產出地として最も有名なりと雖も有名なる割合には產出額多からず該溝畔に散在せる饅頭形の小丘には三百年以前採掘せる痕跡あり古來不斷の砂金は今后幾百年を持續す可きや計り難しと頃日同地方を視察して歸來せる某氏は語れり

●某師團の渡韓命令 駐韓軍の交代は愈々本月下旬より開始せらる可きが更に我社に達したる內地特信によれば山陽道に根據を有する○○師團は特別任務に就くべく六日渡韓命令に接し急遽準備に着手中なりとあり而して該師團の駐劄地は某道方面なるも暫らく秘密に屬するを以て茲に揭記する能はざるが一說によれば該師團は其全部にあらずして所屬の一部隊に過ぎず則ち駐韓軍の組織變更に伴ひ二師團に屬するものなるべしと云ふ(電通)

●鐵道用地收用告示 內部にては龍山元山間及太田木浦間鐵道用地收用結了する迄左記各坊面內に至る土地、地上物件の賣買典質及家屋墳墓の新造等を禁止する旨告示したり
龍山元山線內濃城府(豆毛坊、仁昌坊)京畿道楊州郡(海等村、屯秋、樂北、邑沿、泉川、獸隱、伊淡、嶺斤各面)同漣川郡(郡內、東二面)同抱川郡(青松面)太田木浦線內忠淸南道懷德郡(外南、山內、柳等川各面)同鎭岑郡(東上南、下南各面)同連山郡(巨蔚、食汗外城、夫人處各面)同恩津郡(花枝山城本、花山、金海、彩雲面)

●渡邊宮內大臣謝電 七日夜渡邊宮內大臣より閔宮相に對して左の電報達したり
電報忝承す岩倉前大臣に對する仕向振り感謝に堪へず貴官迄御禮申進す

●惇德殿の活動寫眞 七日午後二時より惇德殿に於て太皇帝には嚴妃と御同列にて活動寫眞を御觀覽あり午後六時閉會したりと云ふ

●大邱韓人觀光渡日 大邱大韓協會支會總務李一雨會員敎在源朴基敎及開寧郡守鄭在學長男鄭志源等は五日共進會觀光の爲め渡日せりと

●韓皇の祭粢料贈與 岩倉宮內大臣薨去せられたるに付き韓國皇帝より祭粢料五千圓を贈與せらる

●兵須久氏の寄附 前百三十銀行仁川支店長たりし兵須久氏は昨八日歸朝の途に就きしが金百圓を仁川民團立小學校基本金の內に寄附したりと云ふ

●法令審査會開會 內部は八日午後一時より例の通り法令審査會を開けり

日韓材木競爭(二)
……關稅局の調査……

如斯日本木材の輸入減退は當業者の資本の充分ならざりしと同地方商業圏內狹少なる爲め巨額の輸入を圖り以て價額及運賃其他の經費を輕減ならしむる能はず從て他に販路を擴張するを得ざりしに依て於此同地の某當業者は今回新に北海道より直取引を開始し近く同道松材の輸入を企圖し將來鴨綠江材と競爭を試むるものの如し向後果して能く鴨綠江材の輸入を抑制し得るや否やは斷定すべからずと雖今該當業者に就き調査せし所左の如し

▲取引方法 從來同港に輸入せる日本材の大部は鴨綠江材は直接產地との取引行はれず前者は大坂門司等の木材卸商後者は在安東縣の日本人仲買商の手を經て取引をなせるものにして只九州產木材の一部が同地鑛領石積載船の歸航積荷として便載し來るの外主として帆船積として輸入せられたるものなり然るに今回輸入を圖れる北海道松は直取引に係るを以て一時に千噸乃至二千噸の輸入をなさざるべからず從て運賃其他の關係より傭船契約をなし汽船積輸入を圖る由なり▲販路 輸入木材の販路は同地平壤及黃海平安二道の諸地方にして其約七步は他地方の需用に供給せられたるも其額僅少なるを以て北海道材輸入に當つては之等地方は勿論遠く淸國大連及奉天に其販路を擴張せんとする計畫なり▲用途 鴨綠江材紅松は家具及什器製造用に供せられ船舶用材及北海道松共に建築用材を主とし其他には適せざるが如し

▲運賃其他の諸費 は左の如し

種目	鴨綠江材(一噸立)	北海道材(一噸立)
運賃(積込費共)	一、五〇〇	二、〇〇〇
陸揚費	六五〇	六五〇
運搬費	三八〇	三八〇
積込費	…	五〇〇
計	二、五三〇	三、五三〇
保險料	…	三五〇

▲備考 右諸費は概算を示せるもの也

▲價格 北海道松は鴨綠江材に比し產地買入相場廉なる故に運賃に於て稍や多額を要するも尙北海道は低廉なるにより當業者の經營宜しきを得ば販路は漸次擴張せらる輸入額從て增進を見るに至るべし(完)

第二艦隊入港す

島村司令官の率ゆる第二艦隊八雲、見島、沖島、淀の四隻は豫定の如く昨八日午後二時舳艫相啣みて仁川に來航せしが之より先き橋本副理事官、岩崎民長、和田觀測所長其他重なる官民新聞記者は稅關所屬のデーシー號にて港外に同艦隊を出迎へ旗艦に島村司令官を訪ひて迎意を表したり

後藤遞相の渡韓

韓國鐵道管理局にては來る六月上旬を以て釜山停車場落成開通式を擧行する筈にて後藤鐵道院總裁は右開通式列席を兼ね韓國鐵道視察の爲め渡韓する由なる筋に電報ありたり

岡部法相の渡韓

岡部法相は平壤其の他に於ける岡部家農場に關する用務を兼ね視察の爲め今月末渡韓する由

●岡氏休職說に就て 我が社東電の報道せる韓鐵岡營業課長休職說に關し某消息通は語つて曰く岡氏は過般東上の際韓國鐵道經營改善に關し具體的成案を提出し職を賭して意見の遂行を計りたるが情弊に泥める鐵道院幹部は兎角煮へ切らざる返答を爲したる爲め岡氏も爾來面白からず思ひ居るは事實なるもさりとて鐵道院が運輸界の錚物岡氏を休職せしむべしとは如何にしても信ぜられず云々(電通)

●ハリス博士の巡遊 日韓宣教監督「ハリス」博士は來る五月初旬歐州各地を經英國に於て開かるべき宣教大會に臨みそれより北米に渡航し約半ケ年余彼の地に滯在し韓國傳道の爲め五十萬圓程の資金を醵て本年末頃再び來韓せらるゝ筈なりと云ふ

●ル氏妹婿と接待員 前米國大統領ルーズベルト氏妹婿ロビンソン氏夫妻は愈々九日安東縣着十日入京の旨電報ありたり着京の上はアスターホテルに投宿し數日滯在視察すべし因に鐵道管理局よりは新義州迄統監府よりは開城迄各接待員を派する由

●艦隊の歡迎と仁川 別項仁川に於て開催せられし第二艦隊歡迎會は在仁の韓人側有志者六十九名の申込ありたる由なるが傑は何等の勸告を爲したるものにあらず先方より進んで申込み來りしものなりと云ふ

●東拓の敷地と建築 東洋拓殖會社に於ては新築本社の敷地を明治町に確定し既に土地收買濟の由にて目下建築の準備中なりと云ふ

●米國總領事の出發 米國總領事シドモア氏は昨八日下仁午後三時仁川出帆の山東丸にて出發せり

●石井陸軍少將下仁 八日午後入港の第二艦隊歡迎の爲め石井少將は八日正午南發の汽車にて下仁

●俵學部次官の下仁 俵學部次官は家族韓地療養地檢分の爲め一昨七日午後下仁即日歸京したり

●國分參與官の延期 國分參與官は七日東京出發の筈の處何か四五日間同地滯在を命ぜられたり

●光延文成氏入京 定州地方金融組合理事の同氏は七日入京浦尾旅館投宿

●村上則貞氏出發 滯京中の全南警察部長の同氏は七日出發光州へ歸任す

●森代議士の出發 滯京中なりし代議士森藤氏は七日出發平壤に向ひたり

●黑田達之氏出發 滯京中なりし春川財務官の同氏は七日出發春川へ歸任

●三宅驥一氏出發 入京中の三宅理學博士は去る七日出發釜山に向ひたり

龍山通信 (八日 支局發)

▲既報龍山民會の懸案たる桃山遊廓區域擴張の件に關し昨八日正午調査委員會を開き同午後二時より開會の民會に調査の結果を報告し直に之れを附議せしが此稿締切迄は其の結果を聞くを得ざりき因に老松居住野中猶弘氏は同遊廓の經營者と其の債權者との間に立ち双方の意思を纏めて前記調査委員會の參考の爲め出頭陳述する處ありたる筈▲今九日三浦京城理事官は京城理事廳に京龍の民會議員を會し相談會を開くならんと▲龍山も追々繁榮の期に入れりと云ふべくもや先月下旬より龍山驛に下乘車し市中に入込み龍山に足を留むるものと認めらるゝ旅客の數は平均一日五十人位なりといふ▲龍山新市街漢江通の電線敷設は材料の到着次第起工さるゝ運びとなり居れる由なるが右材料の到着は多分來月初旬頃ならんと▲龍山俱樂部に於て本日海老名彈正氏の講話ある由▲俵學部次官は一昨七日午後十二時二十分下仁せり▲七日午後八時十分南大門着列車にて前伊太利領事の令孃及其同行者釜山より入京

▲治外法權▼

アフリカで猛獸を征伐したルーズベルトは今や羅馬に在つて法王と喧嘩をして居るソーだ、猛獸と法王、何れも文明の敵に相違ない、セオドールが之を征伐せんとするも決して故なきに非ずである▲先頃噂のあつた淸國政府ル氏顧問聘用の事は淸國改革派一般の希望だソーだ、ル氏が此希望を納るるや否やは別として若しもソーなつたら彼と桂とが面合せをすることになる、事茲に及んだら滿洲問題解決の如きは實に朝飯前だ▲市原韓銀君過日東上中一夕貿易協會の招宴に臨んだ、ソーして一場の氣焰を吐いた、曰く韓半島は我が帝國の保護國だ而かも內地の人々は半島の事情を知らない、殊に堂々たる帝都の中央に住する有力なる實業家ですら半島の事情に暗い、ト云つたばかりでは判るまいから今茲に一の實例を擧げる▲實例の鎗玉に擧がつたのは梅浦精一君だ、彼れイツゾヤ所用で京城へ來たとき平野水やシャンピンサイダーや種々の罐詰めやを東京から態々持つて來た、其言草に曰く、朝鮮は水が惡い食物がない、故に斯く瓶詰や罐詰を携帶せりと、市原君が此素破拔をやると梅浦君が降參した、ソーして白狀した曰く京城の料理は濱町の常盤屋を凌ぎ、酒は新川に優る、美人は新柳の墨を壓す、余が渡韓前の迂濶は我ながら呆れたりと▲寺內陸相長となり各省次官集合の殖民會議が出來た、さアや之から殖民地に干渉が來ることだらう。

名妓洗髪のお妻(三)

▽山陰道島根で洋服着初め
▽養家は離縁、所夫は放蕩

河村の叔父さんの家にゐた時は斯んな有様で、お嫁さんといふよりも全くのお嬢さんで暮してゐました、叔母さんのおちかさんが又馬鹿に私を可愛がつて呉れまして、叔母さんの親戚になる人が牛込の納土前町に住つてゐたのに頼んで、私は手習に毎日〳〵通つたといふやうな有様でした小田の家にゐた頃お芝居といふものを知らす後にも前にも只一度新富座を覗いて見た限り、深窓に育つたとでも云ひますのでせうか、堅いも堅い箱入のお嫁さんでしたわ▲處が義雄が文部から島根縣の師範學校長に任せられましたので、私も河村の叔父さんと分れて夫婦連で島根へ行つたのです、此時義雄が態々島根から神田雉子町の洋服屋吉田の主人を呼寄せて私の洋服を作りました此れが私の洋服の着染めでしたが、島根と云つても山陰の片田舎ですわ、私の洋服姿が一時土地の評判になりました位義雄は私を世話女房だとは勿論夢にも思つてゐなかつた玩具の人形とでも思つて居たのでせうが、其れは其の筈でしたらうと私でさへ今は思つてゐます、人形でなくとも娘とでも思つてゐたのでせう實際嫂に師範學校の教師といふ名目で遠藤久子といふ女教師を雇入ましたも其實は私の為の家庭教師といつたやうな風で、此久子といふ人には經學だとか手習だとかを教はり、又土地の漢學の先生で男女と云はれた男のやうな錦織竹子といふ女には少しばかり漢籍や何んかを教はりました、義雄も彌々學校の方を止して何でも時の遞信大臣後藤(象次郎)さんからのお話で支那の郵便局長になる事になりましたが、此時に私共は小田の方は離縁となり山下よねといふ人に引取られましたが、此れが抑も私の不運の元今のやうな身分になる事になりました▲義雄は夫れは〳〵腕の冴え切つた所謂遣り手といふのでせうが、頂戴する月給なども月々の事が足りはしません、其れですから何か洋書を繙いては飜譯をしてましたが、夫れが又ウンとお金になる、處から自分の腕を賴んで中々道樂をやつたものです當時の私は申上げたやうな無邪氣と云はうかお話にならぬねんねでせう、義雄が数日家を明けやうがお聞ひ無し養母や叔母さんに教はつた通り、義雄が枕元に煙草盆の火だけはチヤンと入れて待つてゐたものですが山下のおよねといふのが出て來ちや、熊鷹眼でギロリ〳〵、義雄さんは何うしたね、御亭主が家を明けるのは女房の至らないからだよ、其れで女房が默つてるといふ法があるかねと云つたやうな調子でドン〳〵惡い智惠を附けたり焚き附けたりしに來たものですが、其處にや藍もあり身もある、今から考へるとおよねが腹には一物があつたのですね。

珍說緣切り話

▽呑氣と浮氣の持寄り
▽女房を厭棄して酌婦

下の關の宿屋の女房江本トミといふが亭主の利平を嫌ひ家を飛出して仇し男と通じ龍山に落ちて來て男の爲めに北海樓に賣られし始末からトミが亭主よりの願に依り龍山署の保護を受け居れる處を外れし一時は二度迄も本紙に記載せしが去七日本夫は代人を龍山に遣り警察よりとみを受取り愈々下の關へ歸らんと一先停車場前の太陽旅館に引取りしがとみは固より阿呆氣と浮氣にて捏ね上げたる女なるに亭主が代人といふも亦頗る呑氣と洒落氣の嵩じた奴なりしと見へ旅館の一室に於て端なく天下無類古今獨歩の珍なる相談は持上がれり茲に其始終を記さんにとみは迎ひの者に向ひ何うあつても利平さんは厭で候此の後永の年月彼の人と添ふ程ならどんな苦勞も厭ひはせぬとダヾつて見すれば迎の者は小首を傾け暫らくした前の心なら手前にも亦智惠の絞り樣あり第一お前は亭主を嫌ひ第二には是れ近藤人の姦夫をもちしやら分らぬ程の淫奔者サテ其上に亭主と別れる爲めとなれば如何なる苦勞も厭はぬとならばお前は今一度北海樓が許に舞戻り酌婦になる其の代りにお前の爲めに費せし金も少なからねば何程かの手切れ金を此方に渡さば好きに計らうて進ぜんといふ浮氣と呑氣の持寄り相談早速其場に纏まりてトミは再び北海樓にて四十五圓を借り增しこれを迎の者に渡し迎の者は其金を持つて歸へりて離緣の埒をつけることにしたは恐ろしくも損つたりけり

三面電報

▲神戸港外の慘事 其筋への公報に依れば今朝神戸港外に碇泊し居たる神戸ニッケル商會のダルマ船に搭載せるダイナマイト五百、雷管五拾爆發して船は直ちに沒沈し附近の家屋破壞するもの有り多數の死傷者を出せりと(七日發)

●本夫の置き去り

▽橫着至極な姦婦

佐賀縣小城郡といふ處に坂井武同とて貧しく意氣地無き男住めり妻のタケと呼ぶは去年舊五月に二人の子供を殘して家を飛出し龍山に來りしが其間には夫婦より外に知られぬ事情もありしならんタケ渡韓の後も双方より音信も絶たでありしが鄕里にてはたけの實子六歲になるが病死し他の一人の幼兒は此頃に至り腕白になりて男の手一つにては養育も思ふ樣ならぬより武同はたけを呼戻さんと其旨を云遣れどもたけは之れに從はざるのみならず先月よりは手紙さへ送らぬ始末に夫は龍山署に右の一件を具して說諭を願出でしより同署にてはたけを呼出し取調べたるにたけは目下辻猪之助なる者と同棲し猪之助の子を胎んで早や六月の腹を實據にて曰ふやうは本夫の坂井は嫌ひ子供なんどは何うなつても構はず猪之さんと連添ふ覺悟なりとて梃でも動きさうになしとは厄介な牝もあるものかな

●飲むぞ如件 近藤岩吉(四二)は神田ッ兒なり但し消防の纏持ちにあらず屋根屋なるが去七日の夜同職の藤公を永樂町二丁目の宅に訪ひベイ一御馳走に相成りたる處頗る酩酊に及び黄金町にノタリ出でヨボ車に乘つて南部署の前迄で驅けさせたるがヨボも車上の江戸つ兒を見て聊か心細くなりたりと見ね警察へ引込みて賃錢を拂はせて給はれと願ひしも江戸つ兒一向相手にならぬより警察に止め置かれ翌朝醉の醒めた頃叱言を頂戴したかはりに車賃を支拂ふて引退がれり

●電信工夫に注意 近來電線工夫の電線を修理せる者は大道に梯子を橫たへ電線を引張り廻わして通行人の迷惑を顧みざるはまだしもなるが一昨七日旭町邊に就業中なりし工夫は梯上より金槌を落して通行人の頭部に負傷せしめたるものありといへば相當の注意肝要なるべし

●偽代一圓五十錢 仁川外洞居住の日韓勞働組人夫長秋鶴天(四八)と云ふは一昨日午前十一時頃同組事務所內に於て賃金不拂の事より崔仁求なる者と爭論を初め亂暴にも崔の上衣を破りたるのみならず左腕に擦過傷を負はしめしかば京町派出所より巡查出張說諭の上損害一圓五十錢を加害者に支辨せしめて事濟み

●又々仁川の失火 仁川內洞六號朱仁獸方より一昨日午後三時頃發火し大事に至らんさするを消し止めたるが原因は附近の韓童が弄れに燐寸を以て松葉に擢附けし爲め火を發したるものなりとは劍呑〳〵

●微笑會 九日(土曜日)午後三時より商業會議所に於て圓山太嶺禪師の例會講演あり參會隨意

●諸國盆踊唱歌評(十)

▽音流行の唱歌でムる
▽花も實もある優しさ

河內の部

「こなた思ふたら此れ程やせた
　二重まはりが三へまはる」

「かねがなるかよ撞木がなるか
　かねと撞木のあひがなる」

「ひとの事かと立より聞けば
　きけばさし名は私がこと」

「うめは匂よさくらははなよ
　人はこゝろにふりいらぬ」

頭取「前例に依りて一括して願ひます 敦士「河內に限つた歌は一つもない併し皆面白いことは面白い 惡「然り定評ありだ 一同「ヒヤヒヤアッ

「思ふて戀してかなはぬ時は
　稲のはむすびして見やれ」

通「稲の葉結びは稲の葉と葉を結び合はして置いて風や人に依りて解かれざれば此の戀叶ひ然らざれば成り難しと云ふ如な一種の辻占でげすか 杢「左權でやんすよ」聞「格別の歌ではない」地方的風趣が發揮されてゐる所に面白味を感ずるよ 敦士「贊成します 頭取「次は飛んで肥前の部

▲三越の洋傘デー▼

京城の春の眺めはそろ〳〵乙になつて來れり衣香釵影若草の野の景物に數へらるゝも近き程のこととなるべし然れば人々春の裝に心を配らるゝも定めて多からんなどは甚だ遠慮深き申分ながら紳士貴婦人と稱せらるゝ方々は申すに及ばず苟も男と生れ女に性を享けし限りは恐ら無うては叶はぬ筈なるが斯る季節とし見て例の三越が機敏の商略洋傘デーとて來る九十日の兩日大賣出しを爲すと聞く兎角日本人は一般に色の配合に深き注意を拂はぬが常にて時の流行を趁ふてすもすかさぬ心掛けの人すら衣裳や帶などさへ色の配合には一向無頓着なるが如し殊に洋傘に至りては唯品質や色合の好みにのみ重きを置かれ着物へは衣類、帶と洋傘と唯三色を並べても色合の調和面白からぬが多しこれでは折角の春裝も畫龍點睛を缺くの恨あり洋傘デーは恁んなことからの氣着きなりと同店で聞けるまゝを記して見たり

花月の老妓お辰をよみて　市　操　投

○錆さび(替唄)

年齢はとりても杵柄のむかし
わすれぬひだりづま

▲平民文壇▼

▲一昨七日南大門の第二小學校前を通り蒐ると一教員が何れよりか歸校せらるゝ所なので校門內を入らると生徒は道を避けて叮嚀に辭儀をする、然るに其の禮を受ける先生樣は注目もせず依然胸を張り手を振り六十度角に傲然と空嘯いたまゝである▲彼んな調子で講堂や教室でのみ禮儀を說いた處で何の感化を兒童に與ふることが出來るものか▲嗚呼師道の廢れたる今日より甚しきはあらじである、尤も其の時の教員は修身科擔任の人でなかつたのだと云はれゝば又何をか云はんやである(●●風閑子)▲世には自身の都合から辭職をして他人に迷惑を掛けて置きながら他人を怨んで世に惡評を傳ふる不心得の者がある加かも夫れが爲めに幾分なりとも自身を益する者があれば兎に角だが左もないに他人の惡評を流布するのは利益でなからう兄さんの事を思つたら判るだらう分明つたか河村君(紅)▲龍山旭橋邊へ行くと空家斗りでお化が出そうだが徐々ボカ付いて來た爲か元町一丁目邊から河岸へかけて大分賑かに成つて來た(河童)▲靑坡の一樂には可成の美人が居る(柔見客)▲近頃高麗燒泥棒が少なくなつたのか捉らぬのか兎に角噂が聞かぬ(社の人)▲店員解雇廣告の此の頃の樣に多いことは珍ない斷して其裏面には皆不正行爲が伏在して居るのだ實に慨歎に堪へない此れは直間接に當地に高尚なる娛樂機關がなく誘惑機關が完備してるからだ店主側に於て店員親睦會の如きを設立して店員の美事を發表する樣にされたら善からうと思ふ京城繁榮會諸氏以て如何となす(商神)▲贊成するに躊躇せぬ(小僧)▲龍山元町二丁目に一軒老松町に一軒先日破產者があつたが困つたものだ(永住者)▲老松町の盛花の先生五島さんは必切で十號官舍前の大阪屋の番頭さんは中々客あしらいが旨い、美味いと云へば砂本支店の即席吸物は便利で安くて味が宜い(龍山生)

今日の運勢

四月九日舊二月廿九日八白赤口甲辰建△一白衰運たり大小となく控へ目にすべし旅行轉住凶締約貸借宜しからず△二黑勞して後効ある日なり始業開店相談等吉旅行見合すべし△三碧盜害詭計防ぐべし何事も飛禽の影を追ふがごとく實事ならず△四綠急激突發の新事及改良の事凶△五黃平常の日なり業務職務上の手違ある勿れ愼慮事を破るあり△六白盛運たり開店創業婚姻養子の事吉旅行改良の事凶△七赤契約談合取引依賴等効あり壯者は色情事變に耽溺する勿れ△八白新事見合の事改良變更の事は斷行妨げなし保證受印を禁ず△九紫榮運の日なり入學門談判取組事良好旅行は注意出行すべし

●食糧品鑑市立相場

八日　食糧品鑑市場報

品名	夏蜜柑	林檎上	韓海苔	梨(上)	靑蘿	水菜	玉蔥	唐芋	ウド	竹の子	
單位	平籠	立籠	一箱	千枚	一箱	十貫	同	一箱	十貫	同	同
價格	三、六〇〇	二、三五〇	三、八〇〇	…	二、五〇〇	一、三五〇	一、八〇〇	二、五〇〇	一、七〇〇	一、〇〇〇	六、〇〇〇

品名	牛蒡	薩摩芋	大根濱上	同	栗(中)上	中	煎子下	餅	米國根	蓮根	馬鈴薯
單位	十貫	同	地物	東京	一箱	十貫	同	同	一箱	十貫	同
價格	一、八〇〇	…	…	三、〇〇〇	二、〇〇〇	三、〇〇〇	八、〇〇〇	六、〇〇〇	一、四〇〇	四、五〇〇	一、八〇〇

●天氣豫報(自八日午後六時 至九日午後六時)

北又ハ西風曇少雨後晴

七日(華氏)　最高温度　六三、一　最低温度　三七、〇

京城居留民團公文

京城居留民團規則第二號

明治四十年四月京城居留民團規則第六號京城居留民團吏員交際手當及舍宅料給與規則ヲ廢シ左ノ通リ制定ノ件居留民會ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ

明治四十三年四月七日　京城居留民團民長　古城菅堂

記

京城居留民團吏員交際手當及舍宅料給與規則

第一條　民長ニハ年額千二百圓以內ノ交際手當ヲ支給ス民長缺員ノ爲メ助役ニ於テ代理スル場合ハ其期間ノ給額ハ日割ヲ以テ之ヲ助役ニ支給ス

第二條　民團吏員ニハ別表ニ依リ舍宅料ヲ支給ス但シ舍宅ニ給スルモノニハ之ヲ支給セズ

第三條　交際手當ハ年額ヲ十二分シ毎月之ヲ支給ス

第四條　交際手當及舍宅料ハ新任ハ任命ノ日ヨリ退職辭職死亡ハ其ノ當日迄日割ヲ以テ之ヲ支給ス

第五條　交際手當及舍宅料ハ毎月二十五日ニ之ヲ支給ス

附　則

第六條　本則ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第七條　明治四十年京城居留民團規則第六號京城居留民團吏員交際手當及舍宅料給與規程ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

別　表

職名	舍宅料
民長	五十圓
助役及會計役	三十圓
課長	八圓
課長以外ノ書記	五圓

京城居留民團告示第十五號

明治三十九年京城居留民團規則第四號京城居留民團書記定員ニ關スル規程中左ノ通リ改正ノ件居留民會ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ

明治四十三年四月七日　京城居留民團民長　古城菅堂

記

明治三十九年京城居留民團規則第四號京城居留民團書記定員ニ關スル規程第一條中書記定員「十八人」ヲ「二十八人」ニ改ム

京城居留民團告示第十六號

明治三十九年京城居留民團規則第五號民團吏員俸給規則中改正ノ件左ノ通リ居留民會ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ

明治四十三年四月七日　京城居留民團民長　古城菅堂

記

明治三十九年京城居留民團規則第五號民團吏員俸給規則第一條別表中及第三條但書ヲ左ノ通リ改正シ明治四十三年四月一日ヨリ施行ス

別表

一級八十五圓	二級七十五圓
三級七十圓	四級六十五圓
五級六十圓	六級五十五圓
七級五十圓	八級四十五圓
九級四十圓未滿	十級[illegible]圓未滿

第三條但書

但シ月俸五十圓以下ノモノハ此ノ限リニアラズ

京城居留民團告示第十七號

明治四十一年京城居留民團規則第十四號京城居留民團吏員外勤手當支給規則中左ノ通リ改正ノ件居留民會ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ

明治四十三年四月七日　京城居留民團民長　古城菅堂

記

明治四十一年居留民團規則第十四號京城居留民團吏員外勤手當支給規則第一條中「居留民團吏員」トアルヲ「居留民團書記及雇員」ト改正ス